

2023年5月20日

YouTube「不動産投資の楽待」のショート動画が 初めて1000万回再生を突破！

家賃滞納男と大家の9カ月におよぶ激闘に密着した動画に高評価11万件

<本リリースのポイント>

- ・ YouTube「不動産投資の楽待（らくまち）」で公開したショート動画【切り抜き】《加速つけてぶん殴ってやりたい…》「家賃滞納男」vs.「お人よし大家さん」が1000万回再生突破
- ・ UserLocal社が公開する「[YouTube 企業公式ランキング](#)」では「不動産投資の楽待（らくまち）」が65位にランクイン
- ・ 100万回再生を超える長尺動画は25本あり、全動画の総視聴回数は1億9000万回超



株式会社ファーストロジック（本社：東京都中央区、東証スタンダード上場、証券コード：6037）が運営する YouTube「[不動産投資の楽待（らくまち）](#)」で公開したショート動画が初めて1000万回再生を突破しました。2017年の本格運用からこれまでに約750本の動画を公開。100万回再生を超える長尺動画は25本あり、全動画の総視聴回数は1億9000万回にのぼります。UserLocal社が公開する「[YouTube 企業公式ランキング](#)」では「不動産投資の楽待（らくまち）」が65位にランクインし（2023年5月19日時点）、不動産投資というニッチなジャンルのチャンネルにも関わらず、多くの視聴者に見ていただいています。

■1000万回再生を突破した動画

【切り抜き】《加速つけてぶん殴ってやりたい…》「家賃滞納男」vs.「お人よし大家さん」 <https://youtube.com/shorts/aT00qYZdSVg?feature=share>



もし自分が所有する物件で、家賃滞納を続ける入居者がいたら…？

この動画では、大家と家賃滞納男との9カ月に渡る闘いに密着。不動産投資歴12年で普段は温厚な大家が、入居者による家賃滞納・盗電被害に悩まされ、「ぶん殴っていいなら加速つけてぶん殴ってやりたい」とこぼしてしまう場面も…。最終的に民事調停にまでもつれた家賃滞納男との闘いに密着した動画は1240万回再生を突破しました（2023年5月19日時点）。「高評価」は11万件にのぼり、約2700件のコメントが寄せられています。

【寄せられたコメントの一例】

- ・「この大家さんが報われる日々でありますように」
- ・「入居条件に保証人付けることの大切さがわかる動画」

このショート動画の元となった[本編動画（約22分）](#)では、密着の全てを見ることができます。

近年、動画コンテンツの視聴傾向が変わり、YouTubeのショート動画といった短尺動画の視聴回数が伸びる傾向があります。楽待では今後も、視聴者のさまざまなニーズに対応しながら、不動産投資のノウハウを発信していきます。

【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数・No.1(*1)の不動産投資サイトです。全国4500社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式YouTube「不動産投資の楽待（らくまち）」はチャンネル登録者数41.9万人、総再生回数は1億9000万回にのびります。（2023年5月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当：金子（かねこ）・尾藤（びとう）

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@firstlogic.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）